

甲南女子大生が発信！

芦屋の新しい楽しみかた

芦屋市の‘魅力’とは なんですか

六甲山の山並みと芦屋川、宮川が流れつく海や自然の美しさ、落ち着いた街並み、古代遺跡や平安時代の物語の面影が残る景色、阪神間モダニズムの流れをくむ洗練された文化様式など、さまざまに言い表されます。

しかし、私たち市民が気付いていない‘魅力’が、まだまだあるのではないのでしょうか？市では、2年前から甲南女子大学日本語日本文化学科と共同で、これから芦屋を創っていく若い世代の目線で、芦屋市の新しい魅力を発見する事業を行っています。

大学生がそれぞれにテーマを決め、実際にまちを歩き、買い物をし、文化施設で説明を受けた経験を、市に対する観光振興のためのレポートとしてまとめています。今回は、その中から2つのレポートをご紹介します。大学生ならではの独創的な視点もあり、楽しむ気持ちがあふれるまち歩きになりました。レポートの結果は芦屋観光協会 facebook でご覧ください。

芦屋観光協会 facebook

問い合わせ 地域経済振興課 ☎ 38-2033



芦屋と鉄道と観光

甲南女子大学
鉄道文化研究同好会

甲南女子大学鉄道文化研究同好会では、鉄道文化について研究成果をまとめた部誌を発行するなどさまざまな活動を行っています。今回は、阪急芦屋川駅から芦屋川沿いを南へ散策し、鉄道と芦屋を改めて見つめ直す試みです。



官設鉄道芦屋川隧道
(当時)

芦屋の天井川トンネルを新たな観光資源として提案

日本初の鉄道トンネル石屋川隧道と同時期に作られました。1920年には複々線化工事のため解体されますが、芦屋川跨線水路橋に改築され、現在も天井川トンネルとして機能しています。近代化遺産の条件を満たしており、歴史的価値があると思います。

芦屋川周辺のフィールドワークを通して

- 環境、景観整備しているのだから、川沿いをもっと有効活用すべきだと思います。
- ランドスケープデザインでまちづくり(都市における広場や公園の公共空間のデザイン)を提案
- 芦屋観光の1つの名所とする価値はあると思います。
- 今後機会があれば芦屋市と鉄道3社、南女鉄研で共同プロジェクト(スタンプラリー等)を立ち上げてみたいです。



天井川トンネル付近を散策

食パン巡り！ IN 芦屋

甲南女子大学
信時ゼミCグループ

コンセプトは「食パンを通して新しい芦屋の文化の魅力を発見することです。食パン巡りをしながら、食パンに合うジャムを探したり、食パンを食べられる「いい感じのベンチ」などを探すことです。



Panya 芦屋

市内を北ルート・南ルートにわけて散策

北ルート：Panya 芦屋・boulangerie wada

たかやマルシェ・乃が美

南ルート：明日の食パン・ビゴの店・ベッ

カライビオブロード・パンタイムなど



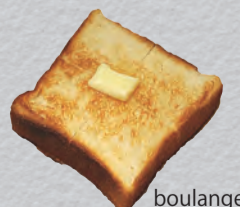
たかやマルシェ

わたしたちからの提案



食パン巡りパンフレット試作品

- 芦屋を「カフェとパンの街」から「食パンの街」に変える。
- 駅などに芦屋の食パン巡りパンフレットの作成・設置など



boulangerie wada